

ソルゴー型ソルガム「天高」「風立」の混播栽培

「天高」は、市販品種中最も多収の品種であるが、やや倒伏しやすい難点がある。「風立」は、市販品種中最も倒伏しにくい品種であるが、収量がやや低い。「天高」と「風立」を混播栽培することにより、倒伏の心配がなく多収が実現できる。

両品種とも極晩生で、出穂しないため、繊維の確保を目的とした栽培に適する。

表1 「天高」「風立」の混播割合と収量（平成10年 岩手農研セ）

混播割合	天高	0	1	2	4	10
	風立	10	9	8	6	0
乾物収量 (kg/10a)	天高	0	537	847	1,317	1,873
	風立	1,225	681	568	262	0
	計	1,225	1,218	1,415	1,579	1,873
乾物収量指数		100	99	116	129	153

「天高」の割合が高いほど収量は増加する。

表2 「天高」「風立」の混播割合と倒伏割合（平成10年 岩手農研セ）

混播割合	天高	0	1	2	4	10
	風立	10	9	8	6	0
倒伏割合(%)		0.0	0.0	0.8	1.8	14.9

「天高」の混播割合が40%以上となると倒伏が多くなる。

表3 他県での混播割合と倒伏割合の検討結果（平成10年 長野畜試）

混播割合	天高	0	1	2	4	6	8	10
	風立	10	9	8	6	4	2	0
倒伏割合 (%)	台風5号	0	0	3	10	50	80	90
	台風8号	0	0	3	10	50	80	90
	台風7号	90	90	100	100	100	100	100

他県でも同じ傾向がある。

「天高」と「風立」の混播割合は、2：8が適当である。